

2012年1月12日

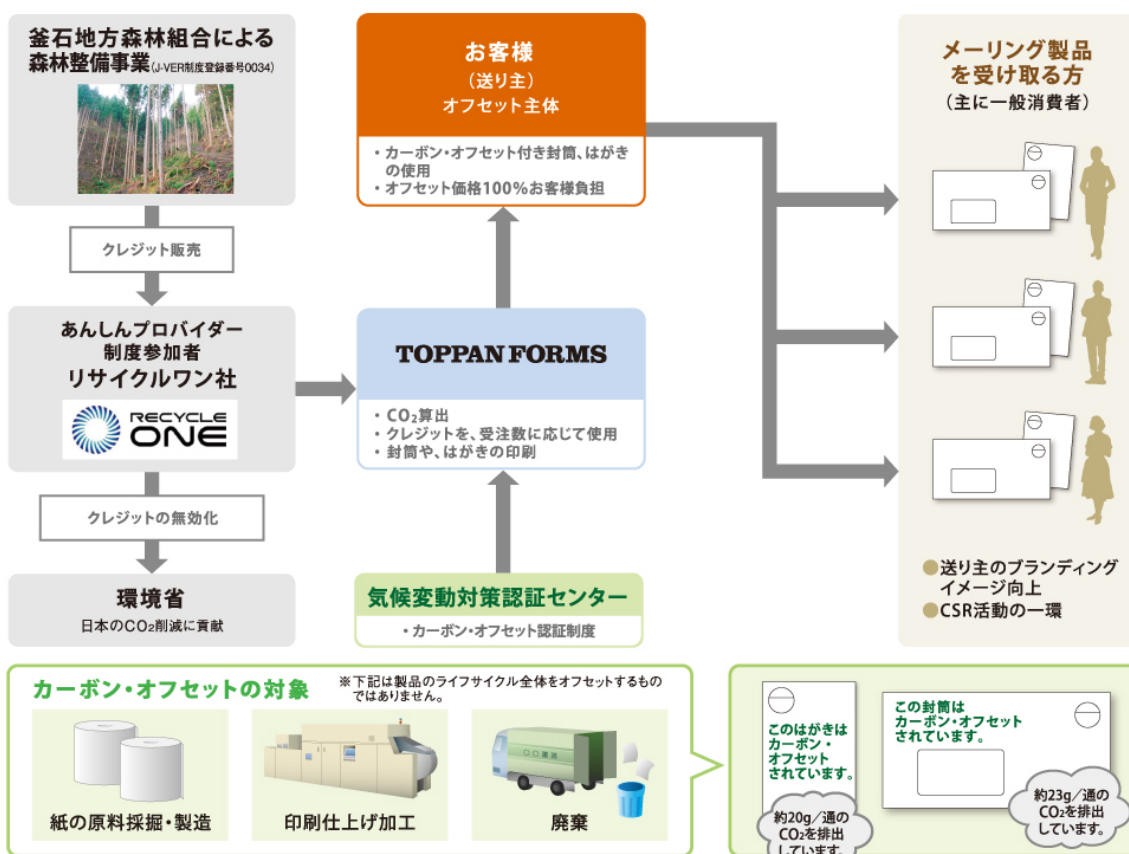
復興支援型カーボン・オフセット^{*1)}付きメーリング製品の販売開始

情報管理ソリューションのトッパン・フォームズ株式会社（以下、トッパンフォームズ）は、通知物として使用される封筒・はがきの「紙の原料採掘・製造」「印刷製造」「廃棄」で排出されるCO₂を、環境省認証の被災地東北3県のJ-VER^{*2)}でオフセットし、環境省基準によるカーボン・オフセット認証ラベルを付与するサービスの提供を2012年1月より開始します。

このサービスは、環境省の2009年度カーボン・オフセットモデル事業で採択されたサービスを引き継ぐものとして、新たにクレジットなどの内容を見直し、同じく環境省事業である被災地復興支援協議会に加盟して行います。被災地で創出されたJ-VERを用いることで、温暖化対策と復興支援を両立することができます。

サービスの概要

導入しやすい価格と仕組みをご提供。オフセット費用は商品価格に含まれています。



企業経営に必要な不可欠な通知業務で発生するCO₂を出来る限り削減して地球温暖化の防止に貢献するとともに、送り主のブランドイメージの向上やカーボン・オフセットの認知度向上にも繋がる効

【背景】

地球温暖化対策は、持続的に取り組んでいかななくてはならない全世界の大きなテーマです。その対策の一つであるカーボン・オフセット製品の販売をできる限り長く続けていくことが必要です。

環境省は、昨今、国内の CO₂削減プロジェクトから創出されるクレジットが充実してきたことと、より身近でしかも森林保全に貢献できることから、海外のクレジットと並行して国内のクレジットの積極的な利用を検討してきました。

東日本大震災の後、トッパンフォームズとして、被災地を支援できることはないか模索していたところ、環境省認定の被災地のクレジットを積極的に使用することで復興支援にもお役に立てると考え、今回の企画にいたりました。

【特長】

① 地球温暖化の原因となる CO₂ を削減します

封筒、はがきの「紙の原料採掘・製造」「印刷仕上げ加工」「廃棄」において排出される CO₂（封筒1通で約 23g、はがき1通で約 20g）をオフセットし、地球温暖化の防止に貢献できます。オフセットはあんしんプロバイダー制度参加者のリサイクルワン社を通じて、環境省のカーボン・オフセット用無効化口座に移転することで行います。

② 大きな負担無くカーボン・オフセットができます

企画ごとに排出削減量を購入する必要が無いため、ご採用者は大規模な投資や仕組みづくりをすることなく、カーボン・オフセットができ、環境保全への取り組みやブランドイメージの向上を実現することができます。

③ 第三者認証機関による環境省基準によるカーボン・オフセット認証ラベルを取得しています

トッパンフォームズが取得した封筒・はがきの認証番号 4CJ-1100069

環境省の指針に基いて適切にカーボン・オフセットが行われていることを、カーボン・オフセット認証制度により厳正に審査し、認証を受けた商品にのみ添付することができる認証ラベルです。これにより一定の信頼性を保持したオフセット商品であることが証明されます。詳しくは、以下の気候変動対策認証センターWeb サイトをご覧ください。

気候変動対策認証センター <http://www.4cj.org/>

*1) カーボン・オフセット

自らの活動により排出する温室効果ガス量を把握し、主体的に削減努力を行うとともに、削減が難しい部分の排出量について、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量などを購入すること、または他の場所で排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動を実施することなどにより、その排出削減の不足分を埋め合わせること。

*2) J-VER(オフセット・クレジット)

環境省による「カーボン・オフセットに用いられる VER(Verified Emission Reduction)の認証基準に関する検討会」の議論における J-VER 制度に基づいて発行される国内における自主的な温室効果ガス排出削減・吸収プロジェクトから生じた排出削減・吸収量を指す。

J-VER はカーボン・オフセット等に活用が可能で、市場における流通が可能となり、金銭的な価値を持つ。J-VER プロジェクトの実施者は、このクレジットを売却することにより、収益を上げることが可能。そのため、これまで費用的な問題で温室効果ガスの削減を実施できなかった事業者や、管理が必要な森林を多く所有する地方自治体等にとっては、温室効果ガス削減プロジェクトの費用の全部や一部を、J-VER の売却資金によって賄うことが可能となる。

以 上

本ニュースリリースに関するお問い合わせ先

トッパン・フォームズ株式会社 社長室広報部 TEL:03-6253-5730

【補足資料】

被災地支援協議会

「被災地オフセット・クレジット（J-VER）の活用による復興支援協議会」（略称：「被災地支援協議会」）の設立目的は、東日本大震災において特に被害が甚大であった被災地（岩手、宮城、福島の三県）にて創出されたオフセット・クレジット（J-VER）の販売を促進することであり、本協議会の運営を通じて、被災地で創出された多くのJ-VERが有効に活用され、それにより被災地への経済支援とJ-VERの活用による温暖化対策の双方を促進していくことを目指しています。

なお、本協議会は被災地でJ-VERを創出している団体様と被災地支援協議会賛同企業により構成され、事務局の運営は、環境省よりオフセット・クレジット（J-VER）制度の東日本地域の事務局として委託を受けた（株）三菱総合研究所が（株）リサイクルワンに再委託しています。

本サービスで用いるクレジット

- ・ クレジットタイプ

J-VER

- ・ 調達状況・無効化方法

調達済み、償却（環境省のカーボン・オフセット用無効化口座に移転）

- ・ 調達期限・通知方法・頻度

3ヶ月に一回オフセット量を見直し、不足時に追加調達

- ・ プロジェクト名

釜石地方森林組合による集約化施業(森林整備活動)を用いた温室効果ガス吸収事業
～釜石市緑のシステム創造事業～（クレジット登録番号 0034）

- ・ プロジェクト実施国・実施地域

岩手県釜石市

- ・ プロジェクトタイプ

森林吸収プロジェクト

- ・ プロジェクト概要

釜石市・大槌町では、総面積の94%を森林が占めており、林業が主要な産業となっている。しかしながら近年、木材価格が低迷し、それが伐採跡地の森林の更新を困難なものにしており、森林所有者の山離れ、林業従事者の減少という問題が発生している。本プロジェクトは、J-VER制度を活用することで、森林が有する生態系サービスによる森林の価値の向上及び森林管理の適正向上を行い、J-VERの販売により経済原則に則った地域の雇用の拡大を実現する。これらを通じて、対象流域の生態系サービスを促進することによる森林の多面的機能の向上を最終目標としている。

- ・ プロジェクト期間
2013年まで
- ・ プロジェクトの排出削減・吸収量
10,423 t
- ・ カーボン・オフセットプロバイダーの詳細
社名：株式会社リサイクルワン
住所：東京都渋谷区渋谷 3-10-13 渋谷Rサンケイビル 6F
電話：03-5774-0600

カーボン・オフセットの価格負担ならびに負担者

- ・ オフセットの価格負担は封筒、はがきともに商品価格のうち約 0.3 円を拠出します。
- ・ オフセットの実施者はお客様であり、お客様の CO₂ 削減貢献量としてカウントされます（トッパンフォームズは、あくまでサービス提供のオプションを提供するオフセットの支援者であり、本企画による CO₂ 削減量は、弊社の削減量としては一切カウントされません）。